

専門基礎分野の教育内容

人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度 14単位350時間

科目名(教育内容) 単位・時間数	科目目標	学習内容
人体の構造と機能・ 疾病の成り立ちと回復 の促進 I (発生、細胞等) (病理学原論)  1単位・30時間	1. 解剖学の概観、人体の発生過程を理解する。 2. 健康から疾病に至るプロセスを理解する。 3. 様々な疾病をもたらす生体内変化を形態学的に理解する。	1. 解剖生理学を学ぶための基礎知識 1)細胞・組織 2)構造と機能からみた人体 2. 人体の発生とその構造(受精と胎児の発生も含む) 3. 病理学総論 1)疾病の成り立ち 2)生体の正常構造と異常との形態学的違い 3)病変の生じるプロセス、病気の定義、病因 4)細胞・組織とその障害など退行性病変 5)再生と修復など進行性病変 6)循環障害、代謝異常、先天異常 7)腫瘍の発生機序、形態および発育・広がり 8)病理学的検査 4. 解剖見学
人体の構造と機能・ 疾病の成り立ちと回復 の促進 II (呼吸器系) (循環器系) 1単位・30時間	1. 呼吸器、循環器の解剖・生理とその障害、検査、治療等を理解する。	1. 呼吸器系の解剖生理 2. 呼吸機能の障害と治療 3. 循環器系の解剖生理 4. 循環機能の障害と治療
人体の構造と機能・ 疾病の成り立ちと回復 の促進 III (消化器系) (腎・泌尿器系) 1単位・30時間	1. 消化器系、腎・泌尿器系の解剖・生理とその障害、検査、治療等を理解する。	1. 消化器系の解剖生理 2. 消化機能の障害と治療 3. 腎・泌尿器系の解剖生理 4. 排泄機能の障害と治療
人体の構造と機能・ 疾病の成り立ちと回復 の促進 IV (脳神経系) (骨・筋系・運動器) 1単位・30時間	1. 脳神経系、骨・筋系の解剖・生理とその障害、検査、治療等を理解する。	1. 脳神経系の解剖生理 2. 脳機能の障害と治療 3. 骨・筋系の解剖生理 4. 運動機能の障害と治療
人体の構造と機能・ 疾病の成り立ちと回復 の促進 V (女性生殖器) (眼・耳鼻咽喉・歯) 1単位・30時間	1. 女性生殖器、感覚器系・歯の解剖・生理とその障害、検査、治療等を理解する。	1. 女性生殖器の解剖生理 2. 女性生殖器の障害と治療 3. 感覚器系の解剖生理 4. 感覚機能の障害と治療 5. 歯の解剖生理 6. 歯の障害と治療
人体の構造と機能・ 疾病の成り立ちと回復 の促進 VI (内分泌系) (アレルギー・膠原病) (造血・血液) (皮膚) 1単位・30時間	1. 内分泌系、皮膚、感染、アレルギーの生理とその障害、検査、治療等を理解する。	1. 内分泌系、酸塩基平衡の解剖生理 2. 内分泌機能の障害と治療 3. 生体防御機能 4. 免疫機能の障害と治療 5. 血液系の生理 6. 血液系の障害と治療 7. 皮膚の障害と治療

生化学 1単位・15時間	1. 人体の構成成分である化学的物質の性状、その代謝過程を理解する。	1. 生化学を学ぶための基礎知識 化学の基礎知識 細胞の構造と機能 2. 生体を構成する物質の構造と性質 糖質 脂質 蛋白質 核酸 3. 恒常性の維持 水と電解質 ホルモン 4. 酵素: 酵素反応 酵素の応用 5. 生体内の物質代謝とエネルギー代謝 糖質代謝 脂質代謝 蛋白質代謝 核酸代謝 ポルフィリン代謝 6. 遺伝情報とその発現
栄養と食事療法 1単位・15時間	1. 生体が正常に機能するために必要な栄養に関する基本的な知識を理解する。 2. 健康障害時の食事療法の基本を理解する。	1. 日本人の食事摂取基準 2. 栄養状態の評価 3. 臨床栄養・食事療法の意義 4. 食事療法の実際
薬理学 1単位・20時間	1. 薬物が、生体にどのような影響を及ぼすのか、生体と薬物の相互関係について学習する。 2. 薬物の種類、性質、特徴、作用機序、薬理作用について理解する。 3. 代表的な薬物療法の実際について学び、薬物療法実施時の支援方法について理解する。 4. 医薬品の種類や適用・医療品に関する法令について学び、臨床で実践されている薬物利用法に関する知識を理解する	1. 薬理学総論 概論・薬物動態・薬の種類と法令・調剤と処方箋 2. 薬理作用、副作用 3. 薬物管理 4. 薬物各論 抗がん薬、抗アレルギー、抗炎症薬、ステロイド性抗炎症薬 抗感染症治療薬、代謝に作用する薬物、心臓血管系に作用する薬物、呼吸器系薬物、消化器系薬物、抹消・中枢神経に作用する薬物、その他
微生物と感染症 1単位・30時間	1. 微生物の特徴を理解する。 2. 感染症をおこす病原微生物について理解する。	1. 微生物の概念 2. 病原微生物 3. 滅菌と消毒 4. 世界の感染症の現状(病原体と疾患)について 5. 感染のメカニズム 6. 日和見感染と薬剤耐性菌について 7. 生体防御の概念とそのメカニズム 8. 免疫の概念 9. ウイルス感染症・真菌感染症の概念について 10. 最近注目される新しい感染症について
看護形態機能学 1単位・30時間	1. 生きていることを支える日常生活行動を知っている。 2. 各日常生活行動の最も一般的な型について、からだの仕組みを説明できる。 3. 生活行動援助技術の形態機能学的な根拠をからだの仕組みから考えることができる。 4. 病気により生活行動がどう影響されるか理解できる。	1. 日常生活行動からからだを捉える(看護の視点) 2. 看護につながる形態機能学 3. 何のための生活行動か 4. 恒常性維持のための物質の流通 5. 恒常性維持のための調節機構 6. 動く 7. 食べる 8. 息をする 9. トイレに行く 10. 話す・聞く 11. 眠る 12. お風呂に入る 13. 子どもを産む
公衆衛生学 1単位・15時間	1. 一人の健康の維持増進を目的とする、組織的な保健活動について理解する。 2. 公衆衛生に関する統計情報を理解する。	1. 公衆衛生の理解 2. 世界と我が国の人口動態 3. 生活の基礎となる健康問題と環境 4. 食と健康 5. 国民の健康と保健統計 6. 疾病の疫学と予防
社会福祉 1単位・30時間	1. 社会福祉、医療と社会保障の関連について理解する。 2. わが国の社会保障制度の体系とその内容を理解する。	1. 人の一生と社会福祉 2. 社会福祉の歴史 3. 女性と社会福祉 4. 児童福祉について 5. 障害福祉について 6. 生活保護について 7. 高齢者の福祉 8. 社会保険制度 9. 介護保険制度 10. 公費負担医療 11. 生活に関わる所得保障 12. 医療と福祉をつなぐ人 13. 地域福祉とボランティア 14. 国家試験にむけて
関係法規 1単位・15時間	1. 法律の理念や基礎知識を学び、社会生活と法のつながりを理解する。 2. 医療制度の中での看護職の位置づけや役割を理解する。	1. 法律の概念 2. 厚生行政の仕組み 3. 医事法規の概要 4. 保健師助産師看護師法 5. 関係法規 6. 医療過誤